

三レ勞資双方ノ主張尚相當ノ懸隔アリテ依然對峙中

一 爭議團ノ動靜

二七十三日ヨリ爭議團本部ヨリ関東勞働同盟會本部大  
ニ移轉シ從來ノ爭議團本部ヨリ庶務團本部ト改称シテ  
其ハ企向ニ集合シテ工ハ共ニ歸入マストナリトシテ  
爲ニ係ル世匠栄町親隣館ニ於テ教縫ミシン其化ナリ  
ノ教養ヲ受ク傍ヲ幾分ノ収入ヲ計リ以テ爭議團ノ  
生活ニ關シテ其ノ持久戰ニ對スル玉策ヲナシツ、アル  
ニシテ其ハ共ニシテ引續々屢々臨時職工ノ出勤阻止ヲ企  
テケルモ所轄大崎署ノ取締嚴重ナル爲メ其都度天敗  
ニ敗セリ

如シテ爭議團ニ於テハ昨十日ヨリ曜日ノ期ニ示滅的  
遠足會舉行ノ計更ヲ樹テ「概」ト題スル新漆喰寫摺印刷  
物内相社會局長官ノミ添付)ヲ作成關係組合支部ニ發  
送セラル以テ當廳ニ於テハ大崎署ヲシテ爭議團代表  
者ニ對シ示滅運動ハ許可セザル旨予メ示達セシメ置  
キタルニ當日期ニ至リ遂クニ計畫ヲ中止シ團員中約  
三ノ名ハ大日本紡績爭議團後ニ赴キタリ

二 工場側ノ状況

臨時職工ニ四名(内女七名)ヲ俟傭シ引續々作業ヲ継続  
シ居レルヲ人負ノ不足ト不熟練ノ爲メ未タ從前ノ作  
業状態ニ復スル能ハサルヲ以テ人負ノ補充ト且ツ争  
議團ノ氣勢ヲ殺ス以テ有利ナル局面ノ展開ヲ策スル